

当別版『Local MaaS』の構築とまちづくりへの政策的統合

1. 概要

人口減少・高齢化、JR札幌線一部線区廃止、バス・タクシーのドライバー不足など、当別町の移動を取り巻く環境変化に対し、持続可能な移動サービスの確立を目指して、当別版『^{ローカル}Local ^{マース}MaaS』の構築に向けた調査、サービス実装、アプリ開発等を行う。

2. 実装するサービス項目

(1) 一体的な情報提供システムの実装

JR・バス・デマンドバスの運行情報の一括検索、複合的な経路検索情報を提供（アプリ）

(2) ロケーションシステムの導入

車両位置情報をリアルタイムに提供（アプリ・デジタルサイネージ）

(3) 予約配車サービスの電子化

タクシー及びデマンドバスの予約を電子化（アプリ）

(4) 決済サービスの電子化

バス・デマンドバス・タクシーの決済電子化（アプリ）

(5) 無料チケットの電子化

医療大関連施設利用時のバス無料チケットの電子化（アプリ）

(6) パッケージ料金の導入

バス・デマンドバス・タクシー等の異なる交通機関の利用を
定額乗り放題により一体化したパッケージ料金として提供（モバイル乗車券）

(7) 定額タクシーサービスの導入（新サービス）

定額を超えた運賃を事業費にて補助（交通空白地への移動補助として実験）

(8) デリバリーバスサービスの導入（新サービス）

デマンドバスを活用して買物荷物を配送

(9) MaaSアプリの開発・実装

上記の全サービスのプラットフォームとなるアプリを開発し実装

(※) 政策統合の検討：Local MaaSのスキーム実装による効果を検証し、外出頻度の増加や健康指標の維持改善といった効果に基づきながら、今後の交通政策を検討していく。

(※) 上記項目の実装・検討に向けて、各種アンケート調査、ヒアリング調査、モニター調査、住民向けのアプリ勉強会、事業者向け説明会、住民ワークショップ、検討会等を実施する。

3. 予算・期間

トヨタ・モビリティ基金の「地域に合った移動の仕組み作り」助成事業に応募し採択済

- ・ 1年目：2019年4月1日～2020年3月31日
 - 助成金・・・18,852,580円
 - 協議会予算・・・1,140,000円（ロケーションシステム導入費用）
- ・ 2年目：2020年4月1日～2021年3月31日
 - 助成金・・・9,401,080円（予定）
 - 協議会予算・・・なし（予定）

4. サービスの公開スケジュール

<1年目>…12月公開を予定

- ・ ロケーションシステム導入（バス・デマンドバスのみ）
- ・ 予約配車サービスの電子化（デマンドバスのみ）
- ・ 一体的な情報提供システムの実装
- ・ MaaSアプリの開発・実装（一部サービスのみ）

<2年目>…6月公開を予定

- ・ ロケーションシステム導入（タクシー追加）
- ・ 予約配車サービスの電子化（タクシー追加）
- ・ 決済サービスの電子化
- ・ 無料チケットの電子化
- ・ パッケージ料金の導入
- ・ 定額タクシーサービスの導入
- ・ デリバリーバスサービスの導入
- ・ MaaSアプリの開発・実装（全サービス）

5. その他

- ・ 報告スケジュール・・・2019年10月31日、2020年4月30日、10月31日、2021年4月30日
- ・ 検討会の実施・・・関係者等により調査・サービス内容等に関する検討を実施
- ・ 各種アンケート調査・・・主なサービス利用者や高齢者を対象に実施（事前調査、中間検証、最終検証）
- ・ アプリ勉強会・・・サービス利用促進、趣旨理解促進のため実施
- ・ 住民ワークショップ・・・ニーズ把握、サービス及びアプリへの要望等を確認
- ・ モニター調査・・・サービス利用のモニターを募集し期間中の利用状況・行動等を調査